

まちづくりに関する アンケート調査結果報告

須恵町が、都市計画マスタープランなどを策定するために、町民を対象に行なった住民アンケート調査の結果がまとまりました。

この調査結果を、今月号から3回に分けてお知らせします。

この調査は、都市計画マスタープラン、国土利用計画、緑の基本計画などの策定にあたって、住民みなさんの生活環境や各計画、施策への考え方を把握して、計画策定に反映させることを目的に実施したものです。

調査は、住民基本台帳から20歳以上の男女の2500人を無作為に抽出、また今回は中学生308人にも回答していただきました。

調査項目は、前回(平成12年)をふまえ、町の住みやすさや住みにくさの意向、町のイメージ、町が実施している施策、計画への関心などを調査しました。回答率は、46.4%、1160人の人たちから、回答をいただきました。

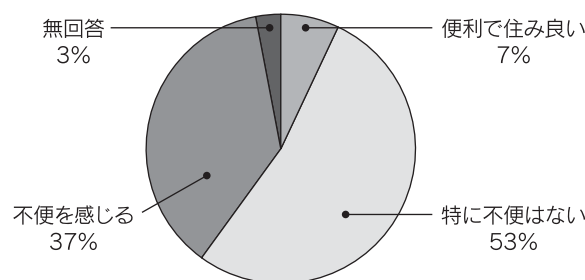
なお、この調査の公表にあたっては、調査対象者の標本構成(性別、年齢、職業、居住地内訳など)や、回答結果の男女別、年齢別内訳などは紙面の都合で、一部省

略しています。詳しくは、役場企画課で閲覧できます。

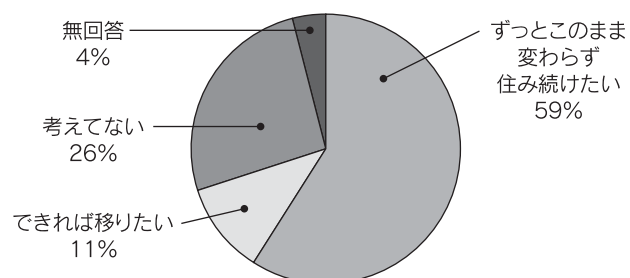
また、本調査にご協力いただきましたみなさまには、感謝とお礼を申し上げます。

▼問合せ先 役場企画課
☎932・1151

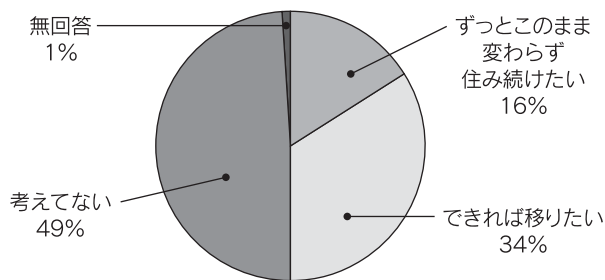
【一般：住み良さ】



【一般：永住意向】



【中学生：永住意向】



「住み良い」、「特に不便はない」と感じる人は60%。一方「不便を感じる」人は37%。

まちの住み良さは「便利で住み良い」、「特に不便はない」とする人が60%。一方「不便を感じる」

▼問1 住み良さ・永住意向

と思う人も37%となっており、意向は二分しています。

永住意向は「ずっと住み続けたい」とする人は一般・59%、中学生・16%。一方「できれば移りたい」とする人は一般・11%、中学生・34%で中学生の方が多く、施策の展開が急務です。

▼問2 好きな(親しみやすい)場所
「皿山公園」が一般と中学生あわせると54.9%と多く、中学生では「アザレアホール」に続いて「町立図書館」「若杉の森運動公園」も多い。

まちの中で好きな(親しみやすい)ところは、一般では「皿山公園」が最も多く37%で、中学生では「アザレアホール」25.9%となっています。

また、中学生では「町立図書館」や「若杉の森運動公園」についても、親しみやすいとしています。

▼好きな(親しみやすい)場所

